氏名　時岡正明

学位の種類　医学博士
学位授与番号　乙第1250号
学位授与の日付　昭和56年12月31日
学位授与の要件　博士の学位論文提出者
（学位規則第5条第2項該当）

学位論文題目　**急性白血病寛解導入療法に関する研究**

第1編　NCMP two step 療法による成人急性非リンパ性白血病の寛解導入に関する検討

第2編　5剤併用療法（NCDVP療法，NCylo－c DVP療法）による難治性急性白血病の寛解導入に関する検討

論文審査委員　教授　長島秀夫　教授　粟井通泰　教授　小川勝士

学位論文内容の要旨

成人急性白血病の寛解導入の治療効果をあげる目的でNeocarzinostatin（NCS）を中心とした多剤併用療法として，NCMP two step療法および5剤併用療法（NCDVP療法，NCyclo-c DVP療法）を新しく考案し，その臨床効果について検討した。

第1編　NCMP two step療法（regimen 1：NCS 1,400 u/m²/日 4日間投与，regimen 2：NCS 4,000 u/m²/日 2日間投与）を作成，未治療成人急性非リンパ性白血病に対し行い治療効果を検討した。その結果，完全寛解は18例中12例（66.7%）に認められ，病型別ではAML 68.3%，AMoL 50%であり，年令別では49才以下85.7%，50才以上54.5%であり，又，regimen 1では72.7%，regimen 2では57.1%であった。寛解期間は，1.0～39.5＋カ月（中央値11.5カ月），寛解例の生存期間は4.2～41.0＋カ月（中央値16.4カ月）であり，ともに著明な延長が認められた。

第2編　5剤併用療法（NCDVP療法：NCS 1,400 u/m²/日 Day 3～6，CA 40～80 mg/m²/日 Day 1～6，DM 20～25 mg/m²/日 Day 3，5，VCR 1.4 mg/m²/日 Day 2，Pred 20～40 mg/m²/日 Day 1～6，NCyclo-cDVP療法：CAのかわりにCyclo-c 300 mg/m²/日 Day 1～6）を作成し，急性白血病難治療例20例（再発例12例，初回導入失敗例8例，ANLL 14例，

ＡＬＬ６例）に対し行い治療効果を検討した。その結果20例中９例（45％）に完全寛解が認められ，特にＡＮＬＬ再発例に50％と高い寛解率が認められた。寛解期間は２～38週（中央値６週）であった。

以上両療法ともに成人急性白血病寛解導入療法として評価し得る治療法であると考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究は成人急性白血病の寛解導入の治療効果をあげる目的でNeocarzinostatin を中心とした多剤併用療法を考案し，その臨床が確められた価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があることを認める。